

草軽電車が走っていた北軽井沢の旧駅舎に隣接する北軽井沢観光協会はエリアの中心にあるから、住民や滞在者、観光客それに学校の子供たちも気軽に立ち寄る「ふれあい施設」のようだ。今月の人はこの観光協会会長をしている黒岩巧さん。大きなイベントをいくつも開催しているので、大変ではないですか？と何うと「イベント毎に、観光協会理事に大工さんや建設屋さんたちがいてよく動いてくれる。ほんとうにありがたい。」と言う。黒岩さんは親の代から北軽に移り住み2代目。妹二人なのでこの地に戻り、母親が経営していた旧駅舎の飲食店「麗峰」を手伝ったのを皮切りに目黒区の林間学校施設でコックとして働きながら調理を学び、昭和56年には特産ジャガイモ料理の専門店「ポテトハウス」で独立。バブルの時代、持ち前の素早い行動力と判断力が役立った。転機が訪れたのは平成19年。町議会議員に挑み当選した。以前から仲の良い人の選挙事務を手伝っていた縁だったが、地元愛の強い北軽井沢を考える会の活動が夢を繋いだ。いま、ジオパークにも熱心に取り組む議員の一人だ。議会の賛同を得てジオパークの先進地の視察もすでに4回(箱根・磐梯山・洞爺湖有珠山・伊豆半島)行ってきた。ジオの会議にはいつも出席し、議会とジオパークを繋いでいる。2年後にはジオパークの関東大会が地元開催なので「ジオの推進議員連盟を婦恋と一緒に立ち上げたい」と言う黒岩さんの座右の銘は

「感謝と奉仕」
「自覚と覚悟」
の気持ちなのだと言った。



いまは、高原キャベツの出荷最盛期で、首都圏のキャベツは浅間高原産で賄われている。大消費地に対応した大生産地の指定を受けて以来約50年が経過した。この間、九州の阿蘇の産地は台風や雨水の影響が顕著になり、長野県では都市化や高齢化で減少が進み、東北の産地は規模が小さく、北海道にあっては遠距離経費のため拡大が図れない中、婦恋では規模拡大と機械化が一層進んで大都市の需要に応えている。消費動向も変化し、一般消費から業務用にシフトする傾向にある。キャベツの品種も多様化しているが大きく分けて寒玉系と柔らかい春系があり、地域的な趣向にも応えている。またこの間、連作による障害を克服する抵抗性品種が進んだほか農家による耕種防除方法が駆使されるなどしてキャベツを揃って収穫する技術に繋がっている。他産地では見られない植栽間隔は45cm×33cmという密植により10a当たり7,000本ほどを植える作型を可能にしている。苗に至っては春先の委託育苗から自家ハウスでのセル育苗が増加し、一斉収穫に拍車をかけている。そのため、収穫の手作業以外、定植機やブームスプレーヤー、大型トラクターは欠かせないが、それを可能にしているのが浅間高原の土壌、黒ボク土だ。耕土も比較的やわらかで、作業もしやすい適度な傾斜地は火山がもたらした台地だ。加えて高原地形がもたらす年間降水量約1,500mm、夏場の平均気温15~20℃内外、さらに首都圏に近いという地理的な要件が産地形成に有利に働いた。他の産地には見られない一斉収穫はこの地で可能になった。

元農業普及指導員
町田信夫



あさまびと

Vol.10
2019
秋号

特集：古くて新しい北軽井沢



▲浅間大滝

イベント情報 活動報告

【フォトコンテスト】
今年も、フォトコンテスト作品募集中です。ぜひ、ご応募ください。
◀昨年度 会長賞作品「カラ松の林道」

10月11日~14日	JGN全国研修会(糸魚川ジオパーク)
10月13日	ジオカフェ(鹿沢インフォメーションセンター)
10月31日~5日	JGN全国大会 おおいた大会
11月3日	婦恋村・長野原町文化祭
11月17日~18日	JGN関東大会 伊豆大島

【ジオパークdeクイズラリー】
8月9日(金)に「浅間山北麓ジオパークdeクイズラリー」を開催いたしました。婦恋村学童保育所の児童57名と1783年(天明3年)の浅間山噴火からその後の復興をクイズラリー形式で学びました。防災についての楽しく良い学びの場となりました。



▲北軽井沢観光協会

北軽井沢エリアを紹介・案内する拠点施設です。浅間高原のその麓に広がる観光リゾート地域です。秋の紅葉も見どころとなりますので、ぜひお出かけください。心よりお待ちしております。
北軽井沢観光協会 担当 秋南澄江
TEL: 0279-84-2047

北軽井沢の冷涼スポット
涼しい浅間高原でも、炎天下の陽射しを避けて訪れる人が多い熊川の「浅間大滝」と「魚止めの滝」。滝の落差は約10m。川を流れる風と水しぶきが、訪れる人を喜ばせる冷涼スポットです。よく見ると大滝・魚止めの滝とともに固い溶岩の上に出てくるのがわかります。川の浸食によって現れた溶岩は浅間火山による溶岩ではなく、実は浅間高原の東側に南北にある霧積火山群の鼻曲火山による溶岩です。霧積火山群は浅間高原では最も古く、270万年前頃から形成され、鼻曲火山は120~60万年前に噴火活動して溶岩流を噴出。その後、浅間火山の活動による堆積物が30mほど覆っていました。熊川の浸食によって古い溶岩が現れているのです。
令和元年8月、浅間山の微噴火が二度ありました。火山と向き合い、正しく畏れながら、一方で浅間高原は火山の恵みを楽しむ絶好の場所です。

発行元：浅間山ジオパーク推進協議会
Mt. Asama Geopark Promotion Council
〒377-1524 群馬県吾妻郡婦恋村大字鎌原494-45
TEL/FAX: 0279-82-5566
URL: www.mtasama.com
E-mail: geo-asama@vill.tsumagoi.gunma.jp
Facebook: www.facebook.com/asamageopark
制作担当：広報・観光委員会

ガイドの受付しています
「浅間山北麓ジオパークガイドの会」の認定ガイドによる案内の受付をしております。ご希望の方は、左記、推進協議会事務局までお申し込みください。
【料金表：ジオガイド1人あたり】
半日 ¥5,000~8,000 ジオガイド1人につき
1日 ¥10,000~16,000 15名位までガイド可

編集後記
初めて編集に係らせていただき、たくさんの方々のおかげで、無事に編集を終えることができました。次号もよろしくお願ひいたします。(T)

古くて 新しい 北軽井沢

地元の方はよく長野原町を下の段と上の段との二つに分けて語ります。浅間山北麓ジオパークのエリアハッ場ダムのある吾妻峡は下の段です。北軽井沢エリアは上の段になります。

北軽井沢エリアは、平らな高原が広がっていて南に浅間山が一望できます。ロケーションのすばらしいところです。この高原の景色の美事な大地は、浅間山の活動でできました。古くは2万4千年前、黒斑山の山体崩壊によってできた流れ山が見られます。

また、歴史年代に入ると平安時代末期1108年(天仁元)の噴火による大地が見られます。大正から昭和にかけてその高原の大地を草軽電鉄が走り、高原の気候や風土を求めて、多くの方が別荘を建ててきました。また、戦後の20年代には、開拓が始まり、酪農、高原野菜、果物などおいしいものがたくさん採れるようになりました。人々の暮らしに根ざした古くて新しい北軽井沢をいたるところで楽しめます。

江戸時代の
信州街道をめぐる
のいいな



信州街道と狩宿

信州街道は、江戸時代、北信濃から江戸への物資輸送道路として重要な役割を果たしていました。ここ狩宿は、草津温泉へ湯治に行く道も交わっていました。

狩宿の関所は、1664年(寛文4)沼田藩主の真田伊賀守により設置されました。善光寺詣の旅人、草津温泉への湯治客を取り締まるのが主な対象でした。関所ですから入り鉄砲に出女の取り締まりにも厳しかったといえます。

狩宿茶屋本陣と関所跡の碑が立っていて賑わっていた当時が偲ばれます。この茶屋本陣は文化財としての保存が検討されています。



四阿山

昔の北軽井沢

苦難のすえ火山灰土に一大農業地帯

北軽井沢の農業は開拓の歴史そのものです。戦後、満州などから多くの引揚者が増える中、農村の復興名目で開始された開拓事業は、高地、高冷地をその中心に据えざるを得ない厳しい状況のもとで吾妻郡は群馬の約50%を受け入れました。北軽井沢地区には昭和21年から3年間にハイロン、大屋原、甘楽、群高それにアテロ及び小菅地区などに延べ193戸総面積1200haを受け入れ23年には北軽井沢開拓農協を組織。火山灰と高冷地開拓の苦難のすえ一大農業地帯に至っています。戦後の開拓行政の中で始まった浅間山南麓と北麓は別途の道を歩み、北麓は開拓事業の成功地として高い評価を得ています。

新しい北軽井沢

一大別荘地の誕生

古くから名湯で知られた草津温泉に向かう旅人達にとって荒涼とした浅間山北麓は難所の地でした。大正2年から軽井沢と草津を結ぶ鉄道の整備が始まり、大正15年には全線が開通します。すると、標高1100m前後の高原地帯で北海道に似た爽やかな気候と2000m級の山々に囲まれた景観、そして首都圏から近い距離という好条件から、全線のほぼ中央に位置する地蔵川駅の周辺に別荘地としての分譲が始まります。東京大学や法政大学の関係者を始め、多くの学者・芸術家の保養所となり大学村との愛称で呼ばれました。現在唯一原形のまま残る旧北軽井沢駅舎は、その大学村が駅舎を新築し、鉄道会社に寄贈したものです。

流れ山

約2万4千年前に黒斑山が山体崩壊を起こし、南北に「岩屑なだれ」となって流れました。北に流れたものは、吾妻川沿いに流れ下り、利根川に至り前橋付近でも15mもの厚みで堆積しました。その中には大きな岩塊と細かい火砕物が混じっているため、所々に大小の特徴的な小山が残されました。これが流れ山と呼ばれ、最大の「馬見塚」は、東西300m、南北400m、比高40mにもおよびます。

